

2023 年度第 3 四半期業績発表

2023 年 11 月 8 日

エボニック、厳しい環境下で、第 3 四半期の業績は 第 2 四半期を上回る

- ・ 第 3 四半期の調整後 EBITDA は 4.85 億ユーロで第 2 四半期を 8%上回る
- ・ コスト削減策が営業利益とフリーキャッシュフローを支える
- ・ テクノロジー&インフラストラクチャー部門を分割し、管理部門の合理化を図る

本件に関するお問合せ
エボニック ジャパン(株)
コミュニケーションズ
TEL 03-5323-7353
FAX 03-5323-7399
E-mail: info-jp@evonik.com

エボニック インダストリーズ(本社:ドイツ、エッセン 以下「エボニック」)は、2023 年度第 3 四半期の業績を発表しました。調整後 EBITDA(支払利息・税金・減価償却費控除前利益)は、厳格なコスト管理の効果もあり、第 2 四半期比 8%増の 4.85 億ユーロとなりました。需要低迷が続いたため、前年同期比では 21%の減少となりました。

取締役会長クリスチャン・クルマン(Christian Kullmann)は、「景気回復にはまだ時間を要するため、私たちは自社で自由に使える手段を重点的に実施しており、その効果は徐々に見え始めています」と述べています。

第 3 四半期のグループ売上高は 23%減の 37.7 億ユーロでした。販売数量は 5%減少、価格は 6%下落しました。メチオニンの価格は第 3 四半期に底を打ち、その後わずかに改善しました。また、アニマルニュートリション部の継続的な変革プログラムにより、コスト削減効果も出始めました。

第 3 四半期のフリーキャッシュフローは、慎重な運転資本管理と投資規律により、前年同期比 63%増の 4.69 億ユーロとなりました。調整後 EBITDA は大幅に減少したものの、1~9 月期のキャッシュ創出も前年を上回りました。キャッシュ・コンバージョン・レートについては、今年度中に目標の 40%(2022 年は 32%)に引き上げる方針を堅持しています。

最高財務責任者(CFO)のマイケ・シュー(Maike Schuh)は、「キャッシュ確保に重点を置いていることが功を奏しています。第 4 四半期もこの恩恵を受けることになるでしょう。財政基盤の強化に向けて、来年も投資をはじめとする支出を厳しく精査していきます」と述べています。

エボニック ジャパン 株式会社
〒163-0938
東京都新宿区西新宿 2-3-1
新宿モリス 12F

www.evonik.jp

エボニックは 2022 年後半から、欠員補充を行わない、外部サービス業者を利用しない、出張を減らすなど、収益確保のための施策を実施してきました。9 月 30 日時点で、すでに約 1.75 億ユーロのコストを削減しており、これは 2023 年の目標額 2.5 億ユーロの 7 割に相当します。グループの固定費は前年度を明らかに下回っており、2024 年度もこの措置を継続する予定です。

第 3 四半期の純損失は 9,600 万ユーロとなりましたが、これは業績悪化、売却および減損損失に伴う費用によるものです。エボニックは、計画していた高吸収性樹脂事業の売却により、2.33 億ユーロの減損損失を計上しました。2022 年第 3 四半期は 2.14 億ユーロの純利益を計上しています。

9 月には、企業戦略の見直しを行いました。具体的には、2 つの主要部門を戦略的に再編成し、3 つの成長部門の事業に資源をより集中的に投入できるようにします。またテクノロジー & インフラストラクチャー部門の分割を行っており、将来的に、テクノロジー部門は地理的な場所に関係なく、グローバルな規模で技術力を統合し、その恩恵を享受できるようにします。インフラストラクチャー部門が運営するドイツのマールとヴェッセリング、ベルギーのアントワープにあるケミカルパークは法的に独立した法人とする予定です。これにより、資金調達の選択肢を増やし、各拠点のインフラの質を維持できるようにします。

「エボニック・テラーメイド」を通じて、複雑さが軽減され、責任が明確になります。このプログラムにより、エボニック固有のニーズに合わせた管理体制を構築することができます。新しい組織設計により、迅速な意思決定や効率的なプロセスが可能になり、管理の階層をなくすことで、コスト効率も向上します。

エボニックは引き続き持続可能な社会に貢献する製品に投資していきます。9 月には、オーストリアのシェルフリングにける生産能力の増強を発表しました。この拠点で製造されるメンブレン(分離膜)は、混合ガスからバイオガスや水素を効率的に分離することができます。

年内は需要の回復が見込めず、低迷が続くと想定しており、8 月に発表した見通しは据え置きになっています。2023 年通期の調整後 EBITDA は 16 億ユーロから 18 億ユーロ、売上高は 140 億から 160 億の範囲を見込んでいます。今年度の資本支出は約 8.5 億ユーロに抑える方針です。

事業部門ごとの業績

スペシャルティアディティブス:

第 3 四半期の売上高は、21%減の 8.82 億ユーロとなりました。この減少は、販売数量の落ち込み、為替のマイナス影響、販売価格の下落に起因しています。

す。前年の数値には、2022 年末に売却した TAA 誘導体事業の売上高も含まれています。建設・コーティング業界向けの製品は、全地域で需要が減退し、販売価格もわずかに下落したため、大幅な減収となりました。ポリウレタンフォーム用添加剤および耐久消費財用の添加剤も、販売数量の減少と販売価格の下落により減収となりました。自動車用添加剤は販売数量が減少した一方、販売価格は原料コスト低下の転嫁により微減となりました。調整後 EBITDA は前年同期を 29% 下回る 1.73 億ユーロ、調整後 EBITDA マージンは前年同期の 21.8% から 19.6% に低下しました。

ニュートリション&ケア:

第 3 四半期の売上高は、需要の増加にもかかわらず 13% 減の 9.24 億ユーロとなりました。これは、販売価格が前年同期を下回ったことと為替のマイナス影響によるものです。必須アミノ酸事業(アニマルニュートリション部)の需要は増加したものの、販売価格が前年同期を大幅に下回ったため、売上高は減少しました。ヘルスケア業界向けの製品(ヘルスケア部)は全般的に需要が好調で、販売価格も上昇しましたが、売上高は主に為替の影響により減少しました。調整後 EBITDA は前年同期の水準を 14% 下回りました。調整後 EBITDA マージンは前年同期の 13.9% から 13.7% にわずかに下回りました。

スマートマテリアルズ:

第 3 四半期の売上高は 19% 減の 11 億ユーロとなりました。この減少は、販売数量の減少、為替によるマイナス影響、原料コスト低下により販売価格が下落したこと起因するものです。無機製品は需要減退により大幅な減収となりました。販売価格の引き下げは、原材料費の低下を反映しています。ポリマー事業では、高機能ポリマー事業が、ポリアミド 12 の 2 つの生産拠点で第 2 四半期にメンテナンス作業を終え、稼働を再開したことによる恩恵を享受しました。売上高は前年同期とほぼ同水準でした。調整後 EBITDA は 28% 減の 1.35 億ユーロとなりました。販売数量と価格の低下が主な要因でしたが、変動費の減少により一部相殺されました。調整後 EBITDA マージンは前年同期の 13.8% から 12.3% に減少しました。

パフォーマンスマテリアルズ:

第 3 四半期の売上高は 23% 減の 6.16 億ユーロでした。販売数量と価格の低下、および為替のマイナス影響がその要因となっています。前年同期の売上には、2023 年 6 月 30 日付で売却されたリユルスドルフの拠点の売上が含まれています。C₄ チェーン製品(パフォーマンス中間体)の事業は、数量面では安定した需要がみられましたが、価格の下落が顕著であったため減収となりました。高吸水性樹脂の売上高も欧州の需要減により前年を下回りました。調整後 EBITDA は 46% 減の 3,400 万ユーロとなりました。調整後 EBITDA マージンは前年同期の 7.9% から 5.5% に減少しました。

エボニック・グループ：損益計算書(抜粋)

(単位:100万ユーロ)	第3四半期			1~9月期累計		
	2022	2023	増減(%)	2022	2023	増減(%)
売上高	4,878	3,771	-23	14,148	11,662	-18
調整後 EBITDA	615	485	-21	2,077	1,344	-35
調整後 EBIT	342	202	-41	1,270	489	-61
調整	-16	-303		-68	-762	
純金融費用	-21	-13		-28	-58	
税引前利益(継続事業)	305	-114		1,174	-331	
法人税等	-90	23		-339	23	
税引後利益(継続事業)	215	-91		835	-308	
税引後利益(非継続事業)	1	5		11	11	
当期純利益	214	-96		824	-319	
調整後当期純利益	253	189	-25	960	427	-56

各事業部門の業績(第3四半期)

(単位:100万ユーロ)	売上高			調整後 EBITDA		
	2022	2023	増減(%)	2022	2023	増減(%)
スペシャルティアディティブス	1,113	882	-21	243	173	-29
ニュートリション&ケア	1,062	924	-13	148	127	-14
スマートマテリアルズ*	1,365	1,100	-19	188	135	-28
パフォーマンスマテリアルズ*	797	616	-23	63	34	-46
テクノロジー&インフラストラクチャー	525	236	-55	35	77	120
その他事業	16	13	-19	-62	-61	2
グループ全体	4,878	3,771	-23	615	485	-21

* 前年度数値は修正表示

各事業部門の業績(1~9 月期累計)

(単位:100 万ユーロ)	売上高			調整後 EBITDA		
	2022	2023	増減(%)	2022	2023	増減(%)
スペシャルティアディティブス	3,278	2,709	-17	758	540	-29
ニュートリション&ケア	3,127	2,703	-14	555	273	-51
スマートマテリアルズ*	3,984	3,407	-14	619	421	-32
パフォーマンスマテリアルズ*	2,586	2,017	-22	287	115	-60
テクノロジー&インフラストラクチャー	1,124	788	-30	65	175	169
その他事業	49	38	-22	-207	-180	13
グループ全体	14,148	11,662	-18	2,077	1,344	-35

* 前年度数値は修正表示

エボニック・グループの事業部門別従業員数

	2022 年 12 月 31 日	2023 年 9 月 30 日
スペシャルティアディティブス	3,824	3,538
ニュートリション&ケア	5,690	5,697
スマートマテリアルズ	8,011	8,079
パフォーマンスマテリアルズ	1,951	1,732
テクノロジー&インフラストラクチャー	8,367	8,261
その他事業	6,186	6,268
グループ全体	34,029	33,575

エボニック インダストリーズについて

エボニックは、100か国以上で事業を展開するスペシャルティケミカルの世界的リーダーの1つです。2022年度は、150億ユーロの売上、24.9億ユーロの営業利益(調整後EBITDA)を計上しました。

革新的で収益性の高い持続可能なソリューションをお客様に提案するために、私たちは化学のその先を目指します。「毎日の暮らしを豊かに」という同じ目的のもと、34,000人以上の社員が働いています。

アジア・パシフィック・リージョンについて

エボニックは、世界経済を牽引し、イノベーションの宝庫であるアジア・パシフィック・リージョンで更なるビジネスの成長を目指しています。2022年度は、37.8億ユーロの売上を計上し、50以上の製造拠点で5,200人以上の社員が働いています。

免責事項

このプレスリリースに記載されている見通しや期待、または将来の予測に関する記述は、既知または未知のリスクと不確実性を含む可能性があります。実際の結果や発展は事業環境の変化により異なる場合があります。エボニック インダストリーズ AG はこのリリースに含まれる見通し、期待、記述に関して、更新の義務を負いません。

(本プレスリリースは、2023年11月7日付で本社から発行されたプレスリリースを翻訳しています。)